



## 2024年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月14日

上場会社名 株式会社ウィルズ 上場取引所 東  
コード番号 4482 URL <https://www.wills-net.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 杉本 光生  
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役CFO (氏名) 蓮本 泰之 TEL 03(6435)8151  
半期報告書提出予定日 2024年8月14日 配当支払開始予定日 2024年9月17日  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年1月1日～2024年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期中間期	2,162	5.3	498	0.4	504	1.6	345	2.4
2023年12月期中間期	2,054	18.1	496	30.7	496	31.5	337	38.6

(注) 包括利益 2024年12月期中間期 345百万円 (2.4%) 2023年12月期中間期 337百万円 (38.6%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期中間期	16.70	—
2023年12月期中間期	16.22	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期中間期	4,035	2,078	51.4
2023年12月期	3,662	1,853	50.5

(参考) 自己資本 2024年12月期中間期 2,072百万円 2023年12月期 1,850百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	3.50	—	6.00	9.50
2024年12月期	—	5.50	—	—	—
2024年12月期（予想）	—	—	—	5.50	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,000	11.6	1,006	10.0	1,003	10.1	668	32.0	32.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年12月期中間期	21,054,400株	2023年12月期	21,054,400株
② 期末自己株式数	2024年12月期中間期	341,193株	2023年12月期	341,193株
③ 期中平均株式数(中間期)	2024年12月期中間期	20,713,207株	2023年12月期中間期	20,831,566株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	5
中間連結損益計算書 .....	5
中間連結包括利益計算書 .....	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	8
(重要な後発事象) .....	9

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当中間連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

### (1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における当社グループを取り巻く環境は、業績への懸念がある企業や機関投資家保有比率の高い大手企業、上場廃止企業で株主優待制度を廃止する動きがあったものの、一部大手企業においては株主優待制度を新設する動きも見受けられました。また、配当利回りと株主優待利回りを合計した総合利回りの向上、株式流動性の改善及び企業の認知度向上等を目的に新たに株主優待制度を導入する企業もあり、引き続き需要があることが伺えます。結果として、株主優待制度導入企業数は、1,485社となりました(2024年6月30日現在)。

このような環境において、当社グループは、「上場企業と投資家を繋ぐことにより効率的な資本市場の実現と上場企業の企業価値最大化を支援すること」のミッションの下、機関投資家マーケティングプラットフォーム「IR-navi」、個人投資家マーケティングプラットフォーム「プレミアム優待倶楽部」及び顧客企業ごとに異なる株主優待ポイントの合算利用を可能とする株主優待共通コイン「WILLsCoin」、バーチャル株主総会の推進等の株主総会プロセスの電子化並びに電子議決権行使プラットフォーム「WILLsVote」のサービス提供を行いました。また、品質の観点から競争優位性のある「サステナビリティソリューション」を、より良いサービスとして提供してまいります。

当中間連結会計期間においては、株主管理プラットフォーム事業である「プレミアム優待倶楽部」及び「IR-navi」の既存顧客からのストック収入が堅調に推移したことに加え「プレミアム優待倶楽部」は、魅力的な株主優待商品ラインナップ拡充により新規顧客の獲得を積極的に取り組み、また、「サステナビリティソリューション」は、上場企業におけるTCFD、SDGsなどを背景に受注体制面の強化を含め、統合報告書制作の案件の維持、新規受注を積極的に行いました。

一方、利益面については、営業及び開発体制強化による人員の採用と定着に向けて平均7%の賃上げを実施し、固定費が増加いたしました。

以上の結果、当中間連結会計期間における当社グループの業績は、売上高は2,162,451千円(前年同期比5.3%増)、営業利益は498,457千円(同0.4%増)、経常利益は504,350千円(同1.6%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は345,989千円(同2.4%増)となりました。

報告セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

#### (株主管理プラットフォーム事業)

「プレミアム優待倶楽部」は、「ポイント制株主優待」と株主の「電子化」(株主の電子メールアドレスを取得して法定書類を電磁的に提供し、また株主専用サイトにおける上場企業と株主との双方向コミュニケーションを実現すること)を組み合わせたサービスであります。契約社数は2023年度末より3社純増し、計93社になりました。また、顧客企業の株主数の増加及び1社当たりのポイント売上高の平均単価が増加いたしました。これらの結果、「プレミアム優待倶楽部」の売上高は1,640,943千円(前年同期比14.7%増)となりました。

「IR-navi」は、上場企業へ提供している機関投資家マーケティングプラットフォームサービスであります。契約社数は2023年度末より9社純増し、計352社となり売上高は170,866千円(同6.1%増)となりました。

「サステナビリティソリューション」は、統合報告書やアニュアルレポート等の投資家とのコミュニケーションツールを企画、制作するサービスであります。サステナビリティ関連情報を基軸とした投資家との対話が高度化したことで受注が堅調に推移し、売上高は158,552千円(同41.5%増)となりました。

「その他」は、株主総会、決算説明会の企画及び運営サポートを行うサービス等であります。株主管理のDX推進を背景としたバーチャル株主総会及びオンライン決算説明会の受注が減少したことにより、売上高は51,672千円(同4.8%減)となりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の株主管理プラットフォーム事業の売上高は2,022,035千円(同15.0%増)、セグメント利益は535,639千円(同12.1%増)となりました。

## （広告事業）

広告事業は、「自社媒体 Web広告」と「Web広告代理店及びアドバタイジングゲーム」によって構成されております。

「自社媒体 Web広告」は、自社媒体におけるWeb広告配信を行うサービスであります。Web検索からのアクセスが減少したことにより売上高は71,811千円（前年同期比70.3%減）となりました。

「Web広告代理店及びアドバタイジングゲーム」は、「自社媒体 Web広告」で蓄積してきたWebマーケティング及びWeb広告のノウハウを活かし、広告代理店として顧客のWeb広告活動のサポートを行うサービスであります。また、顧客のWebサイトに株式会社ネットマイルが開発したゲームソリューションを導入し、Web広告売上及びユーザーのロイヤリティ向上等を行っております。一部広告主の投稿方針の変更により、インフルエンサー売上が減少し、売上高は72,603千円（同0.1%減）となりました。

「その他」の受託開発に伴うサービスについての売上高は1,800千円（前年同期と同額）となりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の広告事業の売上高は146,215千円（同53.8%減）、セグメント損失は37,181千円（前年同期は18,567千円の利益）となりました。

## （2）財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ372,982千円増加の4,035,716千円となりました。これは主に、のれんが11,529千円減少したものの、現金及び預金が121,523千円、受取手形、売掛金及び契約資産が189,086千円、ソフトウェア仮勘定が63,507千円増加したこと等によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ147,543千円増加の1,957,073千円となりました。これは主に、長期借入金が10,490千円減少したものの、買掛金が173,365千円、短期借入金が37,000千円増加したこと等によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ225,439千円増加の2,078,642千円となりました。これは主に、配当金の支払により124,279千円減少したものの、親会社株主に帰属する中間純利益を計上したことにより利益剰余金が221,710千円増加したこと等によるものであり、その結果、自己資本比率は51.4%となりました。

## （キャッシュ・フローの状況）

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ1,121,523千円増加し、2,534,021千円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動の結果、増加した資金は340,210千円（前中間連結会計期間は335,365千円の増加）となりました。これは主に、売上債権の増加183,197千円、法人税等の支払額160,508千円があったものの、税金等調整前中間純利益504,350千円の計上があったこと等によるものであります。

投資活動の結果、増加した資金は880,232千円（前中間連結会計期間は1,124,380千円の減少）となりました。これは主に、会員権の取得による支出24,150千円があったものの、定期預金の払戻による収入1,000,000千円があったこと等によるものであります。

財務活動の結果、減少した資金は98,919千円（前中間連結会計期間は282,292千円の減少）となりました。これは、短期借入金の純増加額37,000千円があったものの、配当金の支払額124,279千円があったこと等によるものであります。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年2月14日付「2023年12月期決算短信〔日本基準〕（連結）」において公表いたしました通期業績予想からの変更はありません。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,412,497	2,534,021
受取手形、売掛金及び契約資産	303,544	492,630
電子記録債権	11,308	5,420
商品	1,622	948
仕掛品	20,095	19,783
貯蔵品	1,016	1,206
その他	45,896	53,913
貸倒引当金	△601	△608
流動資産合計	2,795,380	3,107,316
固定資産		
有形固定資産	48,554	46,368
無形固定資産		
ソフトウェア	217,369	208,614
ソフトウェア仮勘定	122,522	186,030
のれん	215,668	204,139
顧客関連資産	25,377	24,159
その他	340	310
無形固定資産合計	581,279	623,253
投資その他の資産		
破産更生債権等	2,169	—
その他	237,520	258,778
貸倒引当金	△2,169	—
投資その他の資産合計	237,520	258,778
固定資産合計	867,354	928,400
資産合計	3,662,734	4,035,716
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	333,156	506,522
短期借入金	266,320	303,320
1年内返済予定の長期借入金	23,280	22,130
未払金	45,428	41,343
未払法人税等	170,992	157,288
契約負債	634,758	677,728
ポイント引当金	96,060	92,459
株主優待引当金	39,976	33,461
賞与引当金	20,877	6,640
役員賞与引当金	21,190	—
その他	117,769	86,944
流動負債合計	1,769,809	1,927,840
固定負債		
長期借入金	37,490	27,000
資産除去債務	2,230	2,233
固定負債合計	39,720	29,233
負債合計	1,809,530	1,957,073
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	246,900	246,900
資本剰余金	246,447	246,447
利益剰余金	1,556,916	1,778,626
自己株式	△199,545	△199,545
株主資本合計	1,850,717	2,072,427
新株予約権	2,486	6,215
純資産合計	1,853,203	2,078,642
負債純資産合計	3,662,734	4,035,716

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書  
 (中間連結損益計算書)  
 (中間連結会計期間)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
売上高	2,054,607	2,162,451
売上原価	1,055,680	1,041,717
売上総利益	998,926	1,120,733
販売費及び一般管理費	502,308	622,276
営業利益	496,618	498,457
営業外収益		
受取利息	9	7,006
補助金収入	3	2,577
未払配当金除斥益	88	—
還付消費税等	3,305	—
雑収入	112	100
営業外収益合計	3,520	9,684
営業外費用		
支払利息	2,456	2,471
支払手数料	153	—
投資事業組合運用損	459	902
その他	867	417
営業外費用合計	3,936	3,790
経常利益	496,202	504,350
特別損失		
固定資産除却損	18	—
特別損失合計	18	—
税金等調整前中間純利益	496,183	504,350
法人税等	158,376	158,361
中間純利益	337,807	345,989
親会社株主に帰属する中間純利益	337,807	345,989

(中間連結包括利益計算書)  
(中間連結会計期間)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
中間純利益	337,807	345,989
中間包括利益	337,807	345,989
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	337,807	345,989
非支配株主に係る中間包括利益	—	—



## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	496,183	504,350
減価償却費	46,238	44,318
のれん償却額	11,529	11,529
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	22	7
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	△1,723	△3,600
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	3,521	△6,514
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△18,018	△14,236
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△18,681	△21,190
受取利息及び受取配当金	△9	△7,006
支払利息	2,456	2,471
固定資産除却損	18	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△150,299	△183,197
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△17,380	795
仕入債務の増減額 (△は減少)	161,665	172,297
未払金の増減額 (△は減少)	△48,476	△3,141
前受金の増減額 (△は減少)	73,727	42,970
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△11,124	△24,330
その他	△28,601	△19,279
小計	501,046	496,243
利息及び配当金の受取額	9	7,006
利息の支払額	△2,456	△2,531
法人税等の支払額	△163,233	△160,508
営業活動によるキャッシュ・フロー	335,365	340,210
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1,000,000	—
定期預金の払戻による収入	—	1,000,000
投資有価証券の取得による支出	△30,000	—
有形固定資産の取得による支出	△507	△1,777
無形固定資産の取得による支出	△99,445	△93,734
出資金の払込による支出	△9,000	—
敷金及び保証金の回収による収入	14,932	—
敷金及び保証金の差入による支出	△360	△105
会員権の取得による支出	—	△24,150
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,124,380	880,232
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△21,840	37,000
長期借入金の返済による支出	△14,056	△11,640
自己株式の取得による支出	△100,141	—
配当金の支払額	△146,255	△124,279
財務活動によるキャッシュ・フロー	△282,292	△98,919
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,071,307	1,121,523
現金及び現金同等物の期首残高	2,065,368	1,412,497
現金及び現金同等物の中間期末残高	994,060	2,534,021

## (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項ありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項ありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

## I 前中間連結会計期間（自 2023年1月1日 至 2023年6月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	中間連結 損益計算書 計上額
	株主管理 プラットフォーム 事業	広告事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,741,633	312,973	2,054,607	—	2,054,607
セグメント間の内部売上高又は振替高	15,959	3,480	19,439	△19,439	—
計	1,757,593	316,453	2,074,046	△19,439	2,054,607
セグメント利益	478,050	18,567	496,618	—	496,618

(注) セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当中間連結会計期間（自 2024年1月1日 至 2024年6月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	中間連結 損益計算書 計上額
	株主管理 プラットフォーム 事業	広告事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,019,715	142,735	2,162,451	—	2,162,451
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,320	3,480	5,800	△5,800	—
計	2,022,035	146,215	2,168,251	△5,800	2,162,451
セグメント利益又は損失(△)	535,639	△37,181	498,457	—	498,457

(注) セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## (重要な後発事象)

## (自己株式の取得)

当社は、2024年8月6日開催の臨時取締役会において、以下のとおり、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式の取得を行うことを決議いたしました。

## 1. 自己株式の取得を行う理由

株価水準とキャッシュフローの状況に鑑み、資本効率向上を図り、市場環境、及び経営環境の変化に応じた機動的な資本政策を遂行することを目的に自己株式を取得していくことを基本方針としており、自己株式の取得を行うことといたしました。

## 2. 自己株式の取得に係る事項の内容

- |                |  |
|----------------|--|
| (1) 取得対象株式の種類  | 当社普通株式   |
| (2) 取得する株式の総数  | 621,000株 (上限)<br>(発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合3.00%) |
| (3) 株式の取得価額の総額 | 300,000千円 (上限)                                 |
| (4) 取得時期       | 2024年8月15日から2024年12月30日まで                      |
| (5) 取得の方法      | 東京証券取引所における市場買付け<br>(自己株式取得に係る取引一任契約に基づく市場買付け) |